どうしていこう

防災対策と 避難所

- 令和 4 年 5 月 8 日
- 佐賀市議会 議会報告会
- 第2部 分科会
- 総務委員会

目次

佐賀市議会の災害対応について

総務委員会から佐賀市へ ①

・「避難所における新型コロナウイルス感 染症への対処方針」の策定

総務委員会から佐賀市へ ②

- 「佐賀市防災備蓄計画」の策定
- ・「避難所開設運営マニュアル」等の適宜 更新・庁内での情報共有
- ・「佐賀市防災の手引き」の策定

令和4年度当初予算の審議

佐賀市議会の 災害対策について

佐賀市議会業務継続計画(議会B CP)を策定しました【災害時の 議会の役割と行動指針】

大規模な災害等が発生した場合に、 引き続き議会の役割を維持し、一方 で、災害等の対応に当たる執行機関 への協力や連携を行うため、非常時 の議会及び議員の役割や行動指針の を定めることにより、迅速かつ適と を定めることを確保することを目的と は、佐賀市議会業務継続計画(会BCP)を策定しました。

佐賀市議会業務継続計画 (議会BCP) (PDF 890KB)

佐賀市議会業務継続計画 (議会BCP)

> 令和元年10月 (佐賀市議会)

10	計画	OB	的				•	٠			٠	٠	٠	٠	٠		٠		٠	٠		٠		া
2.	計画	の女	象	٤	す	3	災	害	等											2				1
3.	議会	及び	議	員	o)	役	31				٠	٠	٠	٠	*						*	•		1
	(1)	議会	O	役	割																			
	(2)	議員	0	役	割																			
4.	執行	機型	12	0	連	携	,	協	カ	指	計		*	٠	٠	٠	٠		٠		٠	•	٠	
5.	議会	の体	히						٠				٠		¥	+		+		٠				4
	(1)	-3	体	制																				
	(2)	二次	体	制	(議	会	災	害	対	策	会	護	Ø	設	뿚)							
	(3)	三次	体	制	(全	議	員	Ø	参	集)												
6.	議員	の基	本	的	な	行	動	内	容	٤	行	動	基	準										1
	(1)	基本	的	な	行	動	内	容																
	(2)	行動	基	準																				
7.	事程	局單	員	n	tī	動	¥	準		•	٠	٠				*	•	•	٠		*			1000
	(1)	行動	基	38																				
	(2)	議員	0	安	否	を	確	認	す	る	方	法	Ł	確	E	す	る	事	項					
8.	情報	104	集		•			٠	٠		٠	٠	٠	٠	٠	•				٠	•	•		4
	(1)	地域	O	災	害	情	報	o,	収	集	な	Ł												
	(2)	97	1	9	۲	端	末	Ø	活	Ħ														
9.	防災	2016		٠				٠	٠				3*3	٠	•	٠	٠	*		٠	٠	٠		À
0	計商	m E	Table 1	1									2		-		-		125	75	22	:		6

総務委員会から 佐賀市へ ①

新型コロナウイルス感染症に対応した、避 難所運営の方針、ガイドライン等の作成を 急ぐべき。

(令和2年6月定例会)

「避難所における新型コロナウイルス感染症への対処方針」策定

・新型コロナウイルス感染症に対する避難所での感染症対策を徹底することを目的として、この対処方針を定める。(令和2年7月)

<u>避難所における新型コロナウ</u> イルス感染症への対処方針 避難所における新型コロナウイルス感染症への対処方針

令和2年7月 佐賀市総務部消防防災課

2. 基本的な対象方針 (1) 間後度を発生えた適切を「理商行動」の広復 (2) 同葉水原の多くの産産所の開産 (3) 電電所での感を行列は回り開産 (4) 間接所での感を行列は回り開発 (5) 現実的な対策 (7) 間接機を登請よれた適切な「理難行動」の広復 (6) 間は、実際受き時に前便が成せた。「身を守るための適切な行動」をとることができるよう必要 情報程度を行うととは、成功原への超更」以外の避難にからいたとを修立たが、「分 運搬」や「在定理解」など「海難所への超更」以外の避難行動についても、起策、関知を行って (5) 「原が行うこと」 本事等の備える (7) 「市場でのはかな複媒体を活用し、「適切な避難行動」については第、周知する。 (2) 各種・デードップ・変化剤に、自じ等の変をの確認、解磨を呼びかける。 (3) 必要な非常性が出土。基準の情報を使使する。 (6) のまりは、非常を行うを持ちまし、「定等の変をの確認、を取るよう努める。 「市屋がためだ行動」 本事的備える (7) 「申屋がためで行動」 本事的備える (7) 「申屋がためで行動」 本事的備える (8) はませまけ、体験がある。 (8) 水野・ド・ド・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	70.7	
(2) 可能な保り多くの過剰所の認定 (3) 電視所での成と行り採取の影響 (4) 個別機能学の一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、	2. 基本	的な対処方針
(1) 総裁係での感染や抑み情報の実施 (1) 感覚機能音等への適切な対象 3. 異体的な対象 (1) 感覚を登集また透明な「理解行動」の広観 の他は、別名を対すに彼此が確かした「身を守るための適切か行動」をとることができるようを要 情報提供を行うとともに、感染化への対策として、避難所が過度状態になることを持ぐため、「分 遅襲」や「在定電質」女ど「避難用への避難」以外の避難行動についても、広境、別知を行って く、 (西が行うたと) 本等かの強之を (1) 所像やのは本心関係を採用し、「環境な理解行動」についての第、期知する。 2) 音略・・・・ドップを発生し、信化等の炭をの確認、準備を呼びかける。 2) 音略・・・・ドップを発生し、信化等の炭をの確認、準備を呼びかける。 (3) 必要な非常か出し品等や地質を使体する。 (2) がいたいていたいに「身を守るための適切な行動」を取るよう努める。 「作成がとるべた行動」 本等の偏えを (1) 解皮を持ちには、液がかに「身を守るための適切な行動」を取るよう努める。 「作成がとるべた行動」 本等の偏えか (1) 解皮を持ちには、低い、「身を守るための適切な行動」を取るよう努める。 「作成を大力性では、これに「身を等くための適切な行動」を表もよう努める。 (成気度対策用) 非常持ち出し品・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	(1) 19	8染症を踏まえた適切な「避難行動」の広報
(4) 選挙機能者等への適切な対応 3. 具体的な対策 (5) 無効症を施また。適切な「運動行動」の広観 面加は、災害を生物に相反が減やかに「身を守るための適切な行動」をとることができるよう必要 相対処化を行うととは、磁染化への対策として、運動が水温能が出たなことを存ぐため、「分 運動」や 化定面機」など 「運搬化への連難」 以外の運動行動についても、広場、同知を行って (一間が行うこと) 《等等の機工》 1) 用金そのはよる位数値を使用し、「環切な道整行動」について広場、周知を行って (第一件・ドマップを配配し、自己等の安全で確認、帯極を呼びかける。 3) と変なが深等か出し、島等の情報を使用であ。 の前代は、非が起かする情報を得て、等効から「災害に対する魔人」や「運動行動の検討」を行う もに、災害を生物には、減やかに「身を守なたのの選切な行動」を取るよう等める。 「市更がとるべき行動」 《等の機工》 (当) 規模を持ち、体別に不安を感じたときは途やかに原理機関を受かする。 2) ハザードマップ等を確認し、自己等の安全や運動所の投資、避難診断などを確認し、家談 で情報を失れておが、 (3) 避難所での物品共用を避け、洗剤感染を予防するため、必要な非常特も出し品を参慮してよ (4) (2) (2) (2) (3) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4	(2) 8	T能な限り多くの避難所の開設
3. 具体的な対像 (1) 無処理を指束大声のな「接触行動」の正確 のが北、気容を与れて耐化が減やかな、「存を守るための周切な行動」をとることができるようを要 が表現を手机で耐化が減やかな、「存を守るための周切な行動」をとることを称でため、「分 速度」で「心を理解」など「避難がつめまました。現職が必要性能なることを称でため、「分 連復」で「心を理解」など「避難がつめませままままままままままままままままままままままままままままままままままま	(0) 38	2 難所での感染予防対策の実施
(1) (1) (1) (1) (1) (2) (3) (3) (3) (4) (5) (5) (6) (6) (6) (7) (7) (7) (8)	(4) 경	同収級秘者等への適切な対応
場面は、実実発生転に削長が運や水に「全を守るための適切な行動」をとることができるよう必要 情報規格を行うともに、感染症への対策として、避難が必需体制になることを存立たが、「分 運動・や(他工程)、など、程度ボーの避難」以外の避難行動にないても、点は、対処を行って く、 「情が行うこと」 「事務をのはかな限度体を活用し、「適切な適難行動」についてなる。周知する。 2) 予格・デードマップを依拠し、自宅等の変全の確認、準値を呼びかける。 3) 必要な非常特も出し場や情報を提供する。 場所改立、市が後立する情報を得て、学的から「実者に対する商人」や「運動行動の検討」を行う もた。実験を生物には、漢や効と、「後を守なための適切な行動」を取るよう等める。 「再度がとるべ受行動」 《平時の職よ》 「特度を大きている。 2) ハザードマップ等を確認し、自宅等の変全や連携所の投資、建設経過数などを確認し、実践 で指を支入れておく。 3) 遊機所つの物品共用を避け、接触感後を予助するため、必要な非常特も出し品を準備してお く。 「感覚を対する」を設計し、 「実施と事情」、不変から、「実施と事情のを発力、 2) ハザードマップ等を参加に確認をといまする。 「実施と対象が関する。 「実施と対象が関する。」といる場所、「企業の変なな、一定を発生を表現しまする。 「実施を対象が関する。」といる場所、「企業の変な対象が関係など、 「実施を対象が関する。」といる場所、「企業の変なが関係を表現しておく。 「実施を対象が関係を表現している。」を表現を表現している。 「実施を対象が関する。」を表現を表現している。 「といる場合と、「といる場所、「企業のなどを確認している。」を表現を表現している。 「といる場合と、「といる場所、「企業のなどを確認している。」を必要となる場合となる。「となった。」「他とないないる。」	. 具体	的な対策
情景観光を行うととに、環発化への対策として、理難状の高軟化能になることを称ぐため、「分 連覆」を「他を運動」など「避難係への過難」以外の過難行動についても、応報、開知を行ってく。 (一間が行うこと) 《事務の問題之》 1 前報をのはも心理媒体を採用し、「認切な理難行動」についての第、期知する。 2) 各略・サトッランを配し、信じ等の炭金の構造、準備を呼びかける。 3) 必要なが実持ら出し等や情報を現体であ。 ②の形は、市がを配する情報を形で、「報から、「決害と対する情え」や「能難行動の検討」を行う。 ともに、実務を批けには、様かな、「存を守るための選切な行動」を収るよう努める。 【即便がとめべき行動】 《事務の概念》 1) 解表を動きし、体訓に不安を感じたときは遂やがに影響機関を受許する。 2) パザードャッツ等を確認し、自世等の炭金や運動所の皮質、連難終熱などを確認し、家族で精報を失れておく。 (協設を対策用) 非常特も出し品・・・・・・・・・・・・ マスタ、消毒液、降温計、スリッパ、石鹸など 実践発生物の適切な運動行動。 1) (パードマッツ等を等前に確認し、今いる場所(自世等)の安全が確保できる場合には、 企じ避難が見かな避免を事がした。 など、実施を対する場合と、 などの必要なが重ないました。 など、 は、現まれる。 1) (パードマッツ等を等前に確認し、今いる場所(自世等)の安全が確保できる場合には、 企じを選挙を対する場合となど、 の変化が高端になることを応できる。相似を除る。 2) 別報が高端になることをがため、相似を除くま、 2) 別報が高端になることをがため、相似を除くよ、 2) 別報が高端になることをがため、相似を除ると、 2) 別報が高端になることをがため、自然を除るたと、 2) 別報が高端になることをがたため、自然を除くた。 2) 別報が高端になることをがため、自然を除る計り、 2) 別報が高端になることをがたため、自然を除くた。 2) 別報が高端になることをがたり、自然を除るにありました。 2) 別報が高端になることをがたり、相似を除分と、 2) 別報が高端になることをがたり、自然を除分と、 2) 別報が高端になることをがたり、自然を除る。 2) 別様が高端になることをがたり、自然を除めまました。 2) 別様が高端になることをがたり、自然を解析し、 2) 別様が高端になることをがたり、自然を解析し、 2) 別様が高端になることをがたり、 2) 別様が高端になることをがたり、 2) 別様が高端になることをがたから、 2) 別様が高端になることをがたり、 2) 別様が高端になることをがなった。 2) 別様が高端になることをがなる。 2) 別様が高端になることをがなる。 2) 別様が高端になることをがある。 2) 別様が高端になることをがなる。 2) 別様が高端をから、 2) 別様が高端をから、 2) 別様が高端をから、 2) 別様が高端になることをがある。 2) 別様がある。 2) 別様が高端をから、 2) 別様が高端をから、 2) 別様が高端をから、 2) 別様が高端をから、 2) 別様が高端をから、 2) 別様が高端になる。 2) 別様が高端になる。 2) 別様が高端になる。 2) 別様が高端になる。 2) 別様が高端になる。 2) 別様が高端になる。 2) 別様が高端になる。 2) 別様は、 2) 別様が高端になることをがなる。 2) 別様が高端になる。 2) 別様が高端になることをがないまためで、 2) 別様が高端になることをがったがまためで、 2) 別様が高端になることがないまためで、 2) 別様が高端になることをがまためで、 2) 別様が高端になることをがまためで、 2) 別様が高端になることをがまためで、 2) 別様が高端になることをがまためで、 2) 別様が高端になることをがまためで、 2) 別様が高端になることをがまためで、 2) 別様が高端になることをがまためで、 2) 別様が高端になることをがまためで、 2) 別様が高端になることをがまためで、 2) 別様が高端になるとがなる。 2) 別様が高端になるとがなる。 2) 別様が高端になるとがなる。 2) 別様が高端をからなるがある。 2) 別様が高端をからなるがある。 2) 別様が高さなるがある。 2) 別様があるがある。 2) 別様があるがあるがある。 2) 別様があるがあるがあるがある。 2) 別様があるがあるがあるがあるがあるがなるがなるがなるがなるがなるがなるがなるがなるがなるがなるがなるがなるがなる	(1) 思	5染症を踏まえた適切な「避難行動」の広報
 2番: 个「在宅産業」など「産業所への避難」以外の避費行動についても、店舗、開知を行ってく。 「物が行うこと」 《平時の編え》 1 前席や中にマップを成地し、信等の変態所動についての第、開加する。 2 き稀かポードマップを成地し、信等の安全の確認、準備を呼びかける。 3 必要な事業時も出し品を可能を受債する。 3 必要な事業時も出し品を可能を受債する。 3 に要な事業が出て、課金がは、「保全等るための適切な行動」を取るとう努める。 「市民かどさべを行動」 本等の編まる。 は事業を書かし、体調に不定を感じたときは進やかに影像機関を受力する。 2) パザードマップ等を認定し、自定等の変をや重要所の定業、避難結婚などを確認し、実践、で情報を実施しておく、(信息を指すしておく。) 3) 選集所での際出共用を避け、接触が多を予助するため、必要な非常持ち出し品を準備してよく、(信息を実施)が、非常持ち出し品。 マスタ、前選底、保証は、スタッパ、石鹸など 実践を基準の選びを設計算施 1) (パザードマップ等を等前に確定し、今いる場所 (自宅等)の安全が確保できる場合には、在宅産業や上部へ運費する構造機関をしている。 2) 副報所での需要がとあることをおったの。(相互の確合は、親類、知人をへの避難を検討する。 2) 副報所で高速になることをおっため、。(相互の確合は、親類、知人をへの避難を検討する。 	0.0	1は、災害発生時に市民が速やかに「身を守るための適切な行動」をとることができるよう必要を
(一個の個人を (本学的の個人を 1) 市報そのは本価報報体を活用し、「議切な選集行動」とついて広報、周知する。 2) 音称・ドトップを配布し、自定等の安全の確認、準値を呼びかける。 3) 必要な実践や出し高学の情報を模式を、 (2) のののでは、市がを位する情報を作る。 (2) ののでは、市がを位する情報を作る。 (3) に変な実践や出し高学の情報を模式を とした、実践を比較には、強やから「決策に対する個人」や「議業行動の傾対」を行う とした。実践を比較には、強や、「身を守るための選切が行動」を取るよう努める。 「市民かとさべき行動」 《学のの個人を (1) 報表を動けし、体別に不安を感じたときは途やがに影像機関を受かする。 (2) パデードャッツ等を確認し、自定等の安全や遺跡所の企業、連載終節などを確認し、家談 で構築しましておく。 (3) 避難所での物品共和を避け、接触感を予防するため、必要な非常特も出し品を準備してお く。 (3) 定義がでの物品共和を避け、接触感を予防するため、必要な非常特も出し品を準備してお く。 (3) 定義が同じな運転計画 1) パゲードマップ等を等面に確認し、今いる場所(自定等)の安全が確保できる場合には、 企どを選挙と述の一選挙を修訂と載し、今いる場所(自定等)の安全が確保できる場合には、 企どを選挙と述の一選挙を修訂と表し、と述のを含まれ、 (2) 認識が示意能になることをなたか、相似を向けま、 (3) 認識が高端になることを応じため、相似を向けま、 (3) 2) 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20	校	f振提供を行うとともに、感染症への対策として、避難所が過密状態になることを防ぐため、「分割
(南が行うこと) 《平路の魔太》 1 前後やのは小心情報体を活用し、「遠切な遊襲行動」についての間、期間する。 2 合格・サードップを配配し、自宅等の安全の構造、得能を呼びかける。 3) を要なが開かけ出し基準を開発を提供する。 の前式は、非が起かする情報を得て、等待から「実著に対する能え」や「遠襲行動の検討」を行う さした。実容を生物には、減やから「後を守るための周切な行動」を扱るよう努める。 「市理などなべき行動」 《平路の魔太》 1 向接を全路し、体部に不安を感じたときは遂やかに家庭機関を受迫する。 2) パデートマップ等を確認し、自宅等の安全や透過所で必要、避難延縮などを確認し、家族で情報を実施しておい。 3 遊婚がつめ能と用に必要、 (協築な対策用) 非常特も出し基・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	20	[難]や「在宅避難」など「避難所への避難」以外の避難行動についても、広報、周知を行っている。
《平時の備え》 1 前祭その社かに指揮体を活用し、「適切な潜奪行動」についての類、周知する。 2) 各様・・・・ドップを乾燥し、自宅等の安全の確認、準備を呼びかける。 3) 必要なが実持ち出し高等の情報を提供する。 (の前はは、市が発信する情報を得て、平時から「実有に対する能え」を「随着計像の傾計」を行う ともに、実践を比較には、進やかい「身を守るための選切が行動」を取るよう努める。 「市民がどるべき行動」 《平時の備え》 1) 報表を申し、体別に不必を感じたときは途でかに氷原機間を支急する。 2) ハザードャップ等を確認し、自宅等の安全や避難所の投資、避難終節をとを確認し、家談 で接受より私しておく。 (1) 報表を申しておし、(1) 、		
1 前報をのは3年間報係を表明し、「福田な選挙等的」についての第、期間する。 2 う様で、マーヤップを仮をし、在宅等の安全の確認、準備を呼びらける。 3 う 必要な用限符ら出し無等の情報を提供する。 の時代は、市が場合する情報を提供する。 「現実は中で個点、年 「福報計画の検討」を行う ともに、実界を生物には、速やがに「身を守るための周切が行動」を取るよう努める。 「即度がとれて行動」 《等のの職人》 1 対象を申し、体理に不安を感じたときは途でかに、原理機関を受許する。 2) パザードマップ等を確認し、自己等の安全や理解用の位置、避難終期などを確認し、家族 で情報を共和しておく。 3 選集所でかり組入用を設け、接触感染を予防するため、必要な非常符も出し品を停縮してま く。 (協築の政治策川) 非常特も出し品・・・ マスタ、清明底、保証計、スリッパ、石鹸など *実際生味の適切な避難行動。 1) パートマップ等を移出に渡近し、今いる場所(自宅等)の安全が確保できる場合には、 在宅を優々上限へ返離する場合は、規則、知人をへの選撃を検討する。 2 選集所が必要になることをかため、利益を合きに表現。 1) パートマップ等を移出に渡近し、今いる場所(自宅等)の安全が確保できる場合には、 在宅を選挙と振りる機能する場合の表現を行う。 2 選集所が必要になったときなため、利益を紹介は、表現、知人をへの選撃を検討する。 2 選集所が必要になった。ときなため、利益を確合に表現。 2 選集所が必要になった。ときなため、利益を確合に表しま。 2 選集所が必要になった。ときなため、利益を確合に表現。 2 選集所が必要になった。 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	1 T	【市が行うこと】
2)各番・ポートマップを配配し、有空等の契全の確認、準備を呼びかける。 3)必要な非常特力出し基等の情報を提供する。 3)必要な非常特力出し基等の情報を提供する。 3)の要な非常特力は関連を発情する。 1 作用が整位する情報を得して、実わから「実際主対する個人」や「重要対象の検討」を行うともに、実際生物には、速やかに「身を守るための周切な行動」を取るよう努める。 1 作用水を向射し、体調に不安を感じたときは後でかに原機機関を受かする。 2)ハザードマップ等を確認し、自立等の安全や重視用の位置、避難経路などを確認し、実践で指導を具有しておく、 (通数位対策制)非常特も出し基・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		《平時の備え》
3) 必要な小窓時を出し品等の情報を使作する。 即前はは、市が地位する情報を得て、平均から「決害に対する備え」や「建築行動の検討」を行う とした、決済を持続には、確かなに「身を守るための選切が行動」を取るよう努める。 【市民がとるべき行動】 《平等の構え》 1) 報水を申込し、体別に不安を感じたときは遂やかに氷原機関を受造する。 2) パザードャップ等を確認し、自宅等の安全や運動所の投棄、連難終終などを確認し、家族で精度を共有しておく。 3) 避婚かでの物品共和を受け、能無感染を予防するため、必要な非常符ら出し品を停備しておく。 (協会促出策用) 非常持ち出し品・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1	1) 市報そのほか広報媒体を活用し、「適切な避難行動」について広報、周知する。
回前(は、市が発位する情報を得て、平時から「実有に対する個点」や「複雑計像の検討」を行う ともに、実容を生物には、液やかに「身を守るための適切な行動」を取るよう努める。 「程度がとるべき行動」 《平等のの風え》 1) 向東を国持し、体調に不安を感じたときは液やかに医療機関を受益する。 2) パデードッツブ等を確認し、自立等の安全や運動所が投資、避難措施などを確認し、家族 で指揮を具有しておく。 (通過能対策制)非常特も出し品・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1	2) 各種ハザードマップを配布し、自宅等の安全の確認、準備を呼びかける。
(金利では、市が単位する情報を得て、平等から、以裏にはする備え、や「複雑方動の検討」を行う ともに、実際生活時には、液やかに「身を守るための適切な行動」を取るよう努める。 「原度がと高べび行動」 《平時の構え》 1 向東京会員と、「自己等の数を小型動所が使置、避難結婚などを確認し、家族 で情報を共和しておく。 3 連動所での無点用を受け、技能感染を予助するため、必要な非常持ち出し品を等慮してま く。 (協致成計策用) 非常特も出し品・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	- 1	
ともに、実実を生物には、液や小に「身を守るための適切な行動」を取るよう努める。 「市民がどるべ受行動」 《写動の魔え》 1 対象を自動し、体別に不安を感じたときは感やかに医療機関を受かする。 2) ハザードャップ等を確認し、自立等の安全や重難用かた変、避難結婚などを確認し、家族 で指導を具有しておく。 (感染症対策別・非常特も出し品・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	-	
【市民がとるべき行動】 《平等の機工》 (本等の機工》 (本等の機工) (本等の機工) (本学のでは、自然であり、自然であり、自然であり、自然であり、自然であり、自然であり、自然であり、自然であり、自然であり、自然であり、自然であり、自然による。 (本) 、		
《平時の備え》 1) 検索を保持し、体訓に不必を感じたときは述ぐかに京原機関を支持する。 2) パザーヤップ等を確認し、自宅等の安全や遺籍所の投資、避難終認などを確認し、家族 で情報を光有しておく。 3) 遊憩所での指点共和を避け、接触感染を予防するため、必要な非常持ち出し品を等慮しておく。 (感染度対策別、素質特も出し品・・・・マスタ、消毒液、体温計、スラバ、石鹸など 《実発光等の適切な経費計劃》 1) (パザードックブタを手前に模定し) やいら場所(自宅等)の安全が確保できる場合には、 在ご復享や上間へ適度する患気温度を行う。 2) 遊園所が過激になることを防ぐため、利能な部分は、数額、加入をへの避難を付割する。	- 2	DISCONDING RELATED BY CONTRACTOR CANDALY MANAGEMENT
 健康を腐特し、体測に不安を感じたときは途やかに医療機関を受許する。 ハデードップ等を確認し、自宅等の設全や選動所の控置、避難結婚などを確認し、家族で指数を具有しておく。 選嫌所つめ能は共用を避け、接触感染を予助するため、必要な非常持ち出し点を物慮してよく。(感染症対策用)非常特も出し品・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	;	【市民がとるべき行動】
2) ハギードヤップ等を認定し、自宅等の安全を遵循所の投票、連種経路などを確認し、家族 で情報を共有しておく。 3) 遊機がでの物品共和を受け、指無感染を予防するため、必要な非常符ら出し品を準備してお く。 (協会促射策用) 非常持ち出し品・・・ マステ、消毒液、降塩計、スリッパ、石鹸など ス実 液生率の/通信な証券行動 1) (ハゲードマップ等を参加に確定し) 今いる場所 (自宅等) の安全が確保できる場合には、 在宅産産や上部へ適乗する場点を超せたり。 2) 遊機が必要がはなることをなった。。相似な時代は、親類、知人をへの産業を検討する。	- 1	《平時の備え》
で情報を共有しておく。 3 複類所でのかねた用を避け、接触感染を予防するため、必要な非常持ち出し品を等慮しておく。 (感染度対策用) 非常特も出し品・・・ マスタ、消毒液、体温計、スリッパ、石酸など	- 1	1) 健康を維持し、体調に不安を感じたときは速やかに医療機関を受鈴する。
3) 避獲所での物品共用を避け、陸極感染を予防するため、必要な非常符ら出し品を物能しておく。 (協議院材策用) 非素持ち出し品・・・ マスタ、雨湿底、降温計、スリッパ、石酸女ど マスタ、雨湿底、降温計、スリッパ、石酸女ど (以東東北外の港の登む金融計算を計) (ハザードマップ等を参談に確認し) 今いる場所 (自宅等) の安全が確保できる場合には、 石を超離す上降へ適能する他は避難を行う。 2) 避難がる意味なることをなったが、何能な場合は、親類、知人をへの避難を検討する。 2) 避難がる意味なることをなったが、何能な場合は、親類、知人をへの避難を検討する。	1	2) ハザードマップ等を確認し、自宅等の安全や遊園所の位置、避難経路などを確認し、家族
く、(成別を対策用) 非常特も出し品・・・ マスク、前海流、作品計、スリッパ、石鹸など 《災 落発生料の適切な辺難行動 》 1) (パザードッツデタを等前に返送し) 今いる場所 (自宅等) の安全が確保できる場合には、 たて必要や上用へ適響する多点。現職を得合は、税額、加人をへの避難を持合する。 2) 避難がが過去になることを好くため、可能な場合は、税額、加人をへの避難を持ずする。	- 8	で情報を共有しておく。
(感染症対策用) 非常特も出し品・・・ マカス・消毒法、体温下、スリッパ、石鹸など 《別発発生物の感覚な経費等 1) (ハギードマップを多等的に模定し) 今いる場所 (自宅等) の安全が確保できる場合には、 在宅産率と出いる理事する意式推奨を行う。 2) 組織が必慮になることを吹くため、利佐な等合は、親類、加人を小の産業を検討する。	- 1	3) 避難所での物品共用を避け、接触感染を予防するため、必要な非常持ち出し品を準備してお
マスケ、南竜液、体温計、スリッパ、石酸など 《災 衛発生時の適切な避難行動 》 1) (ハザードマップ等を参解に確認し) かいる場所 (自宅等) の安全が確保できる場合には、 在必避難では他へ襲撃する勇成避難を行う。 2) 避難所が過密になることを防ぐため、可能な場合は、親類、加入をへの避難を検討する。	- 1	
本児基発生時の適切な運動行動> 1) (ハザードマップ学を等前に減支し) かいる場所(白宅等) の安全が確保できる場合には、 在宅通電や上田へ適番する急流避難を行う。 2) 避難がが過激になることを防ぐため、可能な場合は、親類、加人をへの避難を検討する。	- 8	(感染症対策用) 非常持ち出し品・・・
 ハザードマップ等を事前に確認し、今いる場所(自宅等)の安全が確保できる場合には、 在宅避難や上降へ避難する患点避難を行う。 避難所が過差になることを防ぐため、可能な場合は、艱難、加人をへの避難を検討する。 	- 1	マスク、消毒液、体温計、スリッパ、石鹸など
在化磁電や上時へ遊響する系直避難を行う。 2) 遊場所が過密になることを防ぐため、可能な場合は、親類、加入化への遊響を検討する。	i	«災害発生時の適切な避難行動»
2) 避難所が過密になることを防ぐため、可能な場合は、親類、知人をへの避難を検討する。	- 1	1) (ハザードマップ等を事前に確認し) 今いる場所(自宅等) の安全が確保できる場合には、
	- 3	在宅遊びや上時へ遊覧する最近遊覧を行う。
(3) 身の安全を守る行動を速やかに実施する。避難所に移動する場合は、移動経路や周囲の安	- 1	2) 避難所が過密になることを防ぐため、可能な場合は、親類、加人宅への避難を検討する。
	1	3) 身の安全を守る行動を速やかに実施する。避難所に移動する場合は、移動経路や周囲の安
全線器を行う。	- 1	全線器を行う。
	1	

総務委員会から 佐賀市へ ②

- ・災害備蓄品の扱いについて
- ・避難所開設運営マニュアル等の適宜更新について

(令和2年9月決算委員会附帯決議)

「佐賀市防災備蓄 計画」の策定

(令和3年4月)

<u>佐賀市防災備蓄計画</u> (PDF255.1 KB)

佐賀市防災備蓄計画

令和3年4月 佐賀市

目 次									
1. はじめに・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・			 -				20	. 1	1
備蓄計画策定に係る基本的な考え方 (1) 備蓄の手法及び支援体制 (2) 想定避難者数 (3) 人口の構成比率						10.		. 2	2
3. 市民偏蓄 (1) 食料 飲料水 (2) 生活を開品 (3) 災害用トイレ (4) 医薬品等 (5) 市民機審(機蓄食料)の方法について			 •	•		i.t	***	- 4	1
4. 公的偏蓋。 (1) 備蓄品目 (2) 備蓄目標 (3) 整備(購入)計應 (4) 資機材等		 ***		(*)		.(*)	*	. 5	7
5、流通偏蓋と災害支援・・・・・・・	6 0.40	 ٠	 114				*	11	

「避難所開設運営 マニュアル」等の 適宜更新・庁内の 情報共有

目次

第1節	目的
第2節	避難所の開設
第 1	避難所の開設基準
第 2	避難所の開設時期
第 3	避難所の設置場所
第 4	避難収容者の基準
第 5	避難所の開設手順
第3節	報告
第 1	報告事項
第 2	状況報告
Ж 3	災害対策本部の報告
第4節	避難所の運営
第 1	事務所の開設
第 2	区画の指定
第 3	運営の担当者
第 4	運営の手順
第 5	避難者の移送
第 6	避難所の備品
第5節	避難所運営委員会
第 1	避難所運営委員会の目的
第 2	構成メンバー
第 3	運営会議の開催
第6節	避難所の閉鎖
第 1	緊急閉鎖
第 2	避難勧告・指示の解除
【参考】	型難所開設運営体系図

起難所開設運営マニュアル

平域27年3月 佐賀市

「佐賀市防災の 手引き」の策定

- ・「佐賀市防災の手引き」の策定
- 佐賀市防災の手引き (PDF7.35MB)





総務委員会 令和4年度 当初予算審議① (新規事業)

·避難所開設運営委託事業(107万円)

モデル校区自治会は3校区自治会 (赤松) (北川副) (未定) 事業費の内容は主に避難所開設運営にあたる人件費。 841円×8時間×2人×3交代×8日。

総務委員会 令和4年度 当初予算審議② (新規事業)

避難所用感染症対策備蓄品整備事業

・避難所で使用する感染症予防対策 の為の自動ラップ式トイレの整備に 要する経費



全部で100台うち一次避難所36か所に2台配備残りの28台は市内8か所の拠点備蓄倉庫に保管

総務委員会 令和4年度 当初予算審議③ (新規事業)

・中山間地域避難支援事業(100万円)

土砂災害特別警戒区域内から非難される住民のより安全な避難所への移動支援に要する経費。

佐賀市タクシー協会に依頼をし、地元のタクシー会社と連携をし、移動避難を速やかに図る。

